



2024年11月11日

各 位

会社名 戸田工業株式会社
代表者名 代表取締役 久保 恒晃
(コード番号 4100 東証スタンダード)
問合せ先 経営企画室長 友川 淳
(TEL. 082-577-0055)

2025年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想と実績との差異及び
通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2024年5月15日に公表しました2025年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想と本日公表の実績に差異が生じたことに加え、最近の業績動向等を踏まえ、2025年3月期通期連結業績予想を修正することとしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2025年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想と実績との差異
(2024年4月1日～2024年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想 (A)	百万円 15,400	百万円 100	百万円 350	百万円 100	円 銭 17.31
実績値 (B)	14,508	△267	△266	△879	△152.24
増減額 (B-A)	△892	△367	△616	△979	—
増減率 (%)	△5.8	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2024年3月期第2四半期)	12,674	△11	970	801	138.71

2. 2025年3月期通期連結業績予想数値の修正
(2024年4月1日～2025年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 32,000	百万円 700	百万円 1,100	百万円 600	円 銭 103.88
今回修正予想 (B)	29,500	△100	△400	△1,300	△224.95
増減額 (B-A)	△2,500	△800	△1,500	△1,900	—
増減率 (%)	△7.8	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2024年3月期)	26,234	117	1,168	△3,581	△620.00

3. 差異及び業績予想修正の理由

(1) 第2四半期(中間期)連結業績予想と実績との差異について

売上高におきましては、磁石材料及び誘電体材料の需要は好調に推移しているものの、複写機・プリンター向け材料、記録材等の一部の製品において市場の回復が遅れている影響を受け、需要が低迷いたしました。また、欧州を中心とした EV 市場の成長鈍化の影響を受け、LIB 用材料の製造を営んでいる当社の連結子会社において受注が急激に落ち込んだことにより、当初の予想を下回りました。

利益面におきましては、原価低減活動及び諸経費削減に取り組んでいるものの、上述の売上高の減少により、営業利益は当初の予想を下回りました。営業外収支においては、EV 需要の低迷により、持分法適用関連会社の収益が減少したこと等から、経常利益は当初の予想を下回りました。また、当社が保有する事業用資産及び共用資産について、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、減損損失を計上したことにより、親会社に帰属する中間純利益は当初の予想を下回りました。

(2) 通期連結業績予想の修正について

売上高におきましては、磁石材料及び誘電体材料は引き続き好調に推移し、複写機・プリンター向け材料、記録材等は緩やかではあるものの徐々に回復に向かうものと見込んでおります。しかしながら、EV 市場においては、設備投資の縮小や工場稼働の延期を公表する自動車メーカーも多く、市場の成長は一時的な踊り場を迎えております。このような環境下、LIB 用材料の製造を営んでいる当社の連結子会社においては、上期と同様に需要が大きく落ち込むものと見込んでおり、当初の予想を下回る見通しとなりました。

利益面におきましては、取締役及び執行役員の報酬の減額に加え、原価低減活動や諸経費削減をより一層推進することで収益の確保に努めるものの、EV 需要の低迷による連結子会社及び持分法適用関連会社の収益の減少により、営業利益及び経常利益は当初の予想を下回る見通しとなりました。また、特別損益において上述の減損損失の計上により、親会社に帰属する当期純利益も当初の予想を下回る見通しとなりました。

以上のことから、当社グループの通期連結業績予想を上表のとおり修正いたします。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上